

高校生 ICT Conference 2014

～考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方～

高校生 ICT Conference 2014 in 大阪 開催報告書

第一回 2014年7月21日（月）

【会場】大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店）

主催・共催

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

2014年7月24日

第1版

目 次

1. 開催概要.....	1
2. 高校生 ICT Conference 2014 in 大阪 第一回 開催概要.....	4
3. 担当	8
4. Conference の成果物と終了後の対応.....	8

1. 開催概要

名 称：	高校生 ICT Conference 2014 ～考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方～ 第1回 「小中学生に伝えたい 情報モラル」 第2回 「2020年のICT環境を創造する」
主催・共催：	一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 安心ネットづくり促進協議会 大阪私学教育情報化研究会
共催（奈良のみ）：	帝塚山大学
後援：	内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省 北海道、奈良県、北海道教育委員会、奈良県教育委員会、大分県教育委員会 北海道青少年有害情報対策実行委員会 全国高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会 大阪府高等学校情報教育研究会、奈良県情報教育研究会 独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 一般社団法人全国高等学校PTA連合会、一般社団法人ソーシャルゲーム協会 一般社団法人電気通信事業者協会 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構
協賛：	グーグル株式会社、グリー株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー 株式会社メディア開発綜研、株式会社中部トータルサービス
協力：	一般財団法人日本脳力研究協会、NPO 法人企業教育研究会 一般社団法人情報教育研究所、アルプス システム インテグレーション株式会社 株式会社インテグラル、株式会社内田洋行、株式会社NTT ドコモ 株式会社ガイアックス、KDDI 株式会社、株式会社サイバーエージェント ソフトバンクモバイル株式会社、デジタルアーツ株式会社、株式会社 BITS PUZZLE 株式会社ミクシィ、LINE 株式会社、ワイモバイル株式会社
開催目的：	高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。今年度も昨年同様 5 拠点にて開催し、より全国的な規模での展開に向けて進めています。 高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインター

	<p>ネット利用環境の構築の一助とすることです。さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省で発表致しました。2014 年度も引き続き 5 拠点にて開催し、広い地域の、高校生ならではの意見を政府に届けるべく、開催を予定しています。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
<p>高校生 ICT Conference 2014 の開催会場・日程：</p>	<p>高校生 ICT Conference 2014</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生 ICT Conference 2014 in 北海道 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014 年 9 月 28 日（日）13:30-17:00 第二回 2014 年 10 月 19 日（日）13:30-17:00 （会場）札幌 ユビキタス協創広場 U-cala 北海道札幌市中央区北 1 条東 4 丁目 1-1 サッポロファクトリー 1 条館 1 階 ・高校生 ICT Conference 2014 in 東京 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014 年 9 月 7 日（日）13:30-17:00 第二回 2014 年 10 月 4 日（土）13:30-17:00 （会場）東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行） 東京都中央区新川 2-4-7 ・高校生 ICT Conference 2014 in 大阪 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014 年 7 月 21 日（月）13:30-17:00 第二回 2014 年 10 月 4 日（土）13:30-17:00 （会場）大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店） 大阪市中央区和泉町 2-2-2 ・高校生 ICT Conference 2014 in 奈良 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014 年 7 月 27 日（日）13:30-17:00 第二回 2014 年 8 月 24 日（日）13:30-17:00 （会場）帝塚山大学 第一回：奈良・学園前キャンパス 奈良県奈良市学園南 3-1-3 第二回：奈良・東生駒キャンパス 奈良県奈良市帝塚山 7-1-1 ・高校生 ICT Conference 2014 in 大分 <ul style="list-style-type: none"> 第一回 2014 年 8 月 30 日（土）13:30-17:00 第二回 2014 年 9 月 27 日（土）13:30-17:00 （会場）ホルトホール大分 大分県大分市金池南 1 丁目 5-1

	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生 ICT Conference 2014 サミット（各地域の代表者による熟議） 2014年11月3日（月） 13:30-17:00 （会場）東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行） 東京都中央区新川 2-4-7 ・最終報告会（サミットでの取りまとめを提言として関係府省等に報告） 2014年12月16日（火） 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省 他（予定）
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回 「小中学生に伝えたい 情報モラル」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 ・第二回 「2020年のICT環境を創造する」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表 <p>【サミット】「考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方」 (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換</p>
高校生 ICT Conference 2014 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高橋正夫（一般社団法人全国高等学校PTA連合会 元会長・一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構代表理事） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米田謙三（大阪私学教育情報化研究会副会長、私立羽衣学園高等学校） ・更科幸一（プレゼンピック、私立自由学園高等科） ・齋藤長行（青山学院大学 ヒューマン・イノベーション研究センター 客員研究員） ・鎌田真樹子（熟議懇談会委員、違法・有害情報相談センターアドバイザー） ・佐藤喜信（株式会社内田洋行 教育総合研究所） ・石原友信（安心ネットづくり促進協議会 事務局） ・吉岡良平（社）モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局） ・他、関係者団体、事業者等 <p>【スーパーバイザー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平野翔大（慶應義塾大学） ・金子真志（目白大学） <p>【事務局】 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局 吉岡良平 yoshioka_r@ema.or.jp 03-6913-9235 東京都港区西麻布 1-4-38 千歳ビル3階</p>

2. 高校生 ICT Conference 2014 in 大阪 第一回 開催概要

概要	<p>第1回は高校生、教員、企業関係者など 80 名の参加者を得て、「小中学生に伝えたい 情報モラル」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】</p> <p>・第一回 「小中学生に伝えたい 情報モラル」 主旨説明 羽衣学園高校 米田 謙三 これからの進め方を紹介、ICT カンファレンスの意義や目的などあわせて本日の流れも紹介しました。</p> <p>開会の挨拶 内閣府 政策統括官（共生社会政策担当）付参事官補佐 鈴木 敦 様 内閣府のこともあわせて紹介いただきました。</p> <p>第一部 事業者による講演 企業さんがあらかじめ自分達でテーマと役割を決めて短い時間でそれぞれ重要な内容をプレゼンしてくださいました。</p> <p>『SNS／ソーシャルゲームを“楽しく”使うためのちょっとした心がけ』 一般社団法人ソーシャルゲーム協会 市川 愛美 様 ゲーム協会の立場からモラルに関して講演してくださいました。 ゲームはいかにうまく使うかがポイントです。ソーシャルゲームも道具です 思いやりを持って使わないと、マナーを守らないと危険なことになる。</p> <p>『「Ameba」 明るい話。暗い話。』 株式会社サイバーエージェント アメーバ事業本部カスタマーサポート室 中村 広毅 様 明るい話でたくさんのユーザーがアメーバにもいてつながりがある 暗い話で実際にアメーバピグの事例から紹介してもらいました。 個人情報の流出、課金の問題（小3で50万円）、不正アクセス 『疑似体験で学ぶスマホにひそむ危険』 デジタルアーツ株式会社 経営企画部 コンシューマ課 工藤 陽介 様 まず、フィルタリングのお話をいただきました。 モラル教育の支援をされていてアプリを作っています。（羽衣学園の生徒も 作成に関わってくれました）今回は依存を中心に話してもらいました。</p> <p>各プレゼンの内容をしっかり参加生徒はメモをとりながら次の熟議に備えていました。各プレゼンの内容も 現在の問題点、今後の課題、これからの活用方法、企業の立場からの提案など いろいろなアイデアが盛り込まれていて教員にも大変有意義なものでした。</p> <p>参加校 学校紹介 および グループ分け 参加生徒全員が前に来て学校ごとに簡単に参加者紹介を行いました。 学校ごとに自己紹介をしたので少し緊張感も和らげました。その後グループ分け</p>
----	---

して5つに分かれました。

第二部：熟議「小中学生に伝えたい 情報モラル」

グループに分かれ大阪私学教育情報化研究会の教員がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。高校生たちは付箋紙に現在使っているスマホやネットの使い方からこれからのこと、また一緒に入って下さった事業者の方にもいろいろと質問をしながら、メモや付箋紙を活用し、意見を出し合っています。歓声が上がるほど活発な意見交換が出されました。自分たちのネットへの依存の高さや現代社会の問題点も出しているグループもありました。そこからいよいよ今回のテーマの小中学生に伝える情報モラル教育ということで「高校生だからできる」をキーワードにさらに付箋紙などを使いながらまとめていきました。付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で意見を整理分類して、各グループでまとめて行きました。細かなテーマにしぼった班や少し大きなテーマで取り組んだ班などいろいろとありました。

また企業の方もサポーターとして入っていただきました。専門的な質問が出るとすばやく答えてくださいました。また書記はOB、OGが担当しました。事前にフォームやまとめ方を打ち合わせして、滞りなくまとめることができました。

[高校生熟議]

熟議ファシリテーター、補助、書記の紹介

※第二部の熟議の詳細は別紙「熟議録」をご参照ください。

第三部：グループ発表

- ・グループ発表（各グループ4分程度）

今回のポイントは前半の事業者様のプレゼンを高校生がかなりうまく活用していたことです。スマホの明暗をうまくよみとり、つなげて発表していました。明と暗、おもいやり、コミュニケーションの大切さをうまくまとめてくれました。

講評 京都大学大学院法学研究科 教授 曾我部 真裕 様

本日の良かった点、次への課題など 簡潔にお話しいただきました。
具体的な提案もたくさんありましたが、自分たちへの理解にもなった。
自分たちが同じ問題を抱えていることを理解できていた。
人生を豊かにするのは自分次第だ。自己責任の大切さに気づいてほしい。
自己責任と思いやり（他者の尊重）は関係する。
今日は大人の参加も多かったですが、みなさん堂々と発表できていた。

最後に、羽衣学園高校 米田謙三先生より次回の予告を紹介しました。

参加校：

[大阪府]

羽衣学園高等学校、大阪学院大学高等学校、プール学院高等学校
大阪市立東高等学校、関西学院千里国際高等部、大阪府立東百舌鳥高等学校

	〔奈良県〕 奈良県立御所実業高等学校
日 時：	2014年7月21日（月）13:30-17:45
場 所：	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店） 大阪市中央区和泉町 2-2-2 アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目駅」8番出口より徒歩8分
参加人数：	熟議参加生徒 31人 見学者 49人（教員・教育関係者 25人 その他 24人） 合計：80人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略） 【第1班】7人 プール学院高等学校 3年 女子 大阪府立東百舌鳥高等学校 2年 女子 大阪市立東高等学校 3年 女子 羽衣学園高等学校 1年 女子 奈良県立御所実業高等学校 3年 男子 大阪学院大学高等学校 3年 男子 羽衣学園高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 大阪府立三島高等学校 教諭 勝山 衿佳 〔ファシリテーター補助〕 大阪成蹊女子高等学校 教諭 宇野 美和 〔書記〕 大阪学院大学高等学校 OG 坂本 良子 【第2班】6人 大阪学院大学高等学校 3年 男子 奈良県立御所実業高等学校 3年 女子 羽衣学園高等学校 2年 女子 大阪府立東百舌鳥高等学校 2年 男子 大阪市立東高等学校 1年 女子 プール学院高等学校 1年 女子 〔ファシリテーター〕 大阪府立野崎高等学校 教諭 眞野 光平 〔ファシリテーター補助〕 大和大学 講師 松本 宗久 一般社団法人ソーシャルゲーム協会 市川 愛美 〔書記〕 大阪工業大学 増井 宏昌 【第3班】6人

関西学院千里国際高等部 2年 女子
プール学院高等学校 3年 女子
大阪市立東高等学校 3年 女子
羽衣学園高等学校 2年 女子
大阪府立東百舌鳥高等学校 3年 男子
大阪学院大学高等学校 1年 男子
〔ファシリテーター〕
聖母被昇天学院高等学校 教諭 岡本 弘之
〔ファシリテーター補助〕
デジタルアーツ株式会社 工藤 陽介
〔書記〕
大阪工業大学 喜多 智也

【第4班】6人

プール学院高等学校 1年 女子
羽衣学園高等学校 1年 女子
大阪市立東高等学校 1年 男子
大阪学院大学高等学校 1年 男子
関西学院千里国際高等部 2年 女子
羽衣学園高等学校 2年 女子
〔ファシリテーター〕
大阪府立北摂つばさ高等学校 教諭 吉村 剛志
〔書記〕
兵庫県立大学大学院 朝井 隆裕

【第5班】6人

大阪市立東高等学校 1年 男子
大阪学院大学高等学校 2年 男子
プール学院高等学校 2年 女子
大阪市立東高等学校 3年 女子
羽衣学園高等学校 1年 女子
羽衣学園高等学校 3年 女子
〔ファシリテーター〕
大阪青凌高等学校 教諭 米田 貴
〔ファシリテーター補助〕
関西学院千里国際高等部 教諭 合志 智子
〔書記〕
兵庫県立大学大学院 中川 芳剛

3. 担当

大阪私学教育情報化研究会	米田	司会、ファシリテーター・書記手配
EMA	吉岡	事務局、庶務、受付
安心ネットづくり促進協議会	牛腸	庶務、記録（撮影）
各地協力団体、事業者等		現地調整、受付等
内田洋行	市村	会場設営、機材準備等

4. Conference の成果物と終了後の対応

- 1) 書記は、PC を使い、Word で Conference の内容を記録。
- 2) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 3) Conference 終了後、書記が記録した各グループの Conference 内容を PDF 化し、発表の画像と併せて、高校生 ICT Conference 2014 のサイトにアップデート
- 4) 第二回終了後、講評と併せて、各会場責任者にて取りまとめ
- 5) 高校生 ICT Conference 2014 サミット終了後、米田先生にて取りまとめ
- 6) 高校生 ICT Conference 2014 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 7) 最終報告会での発表